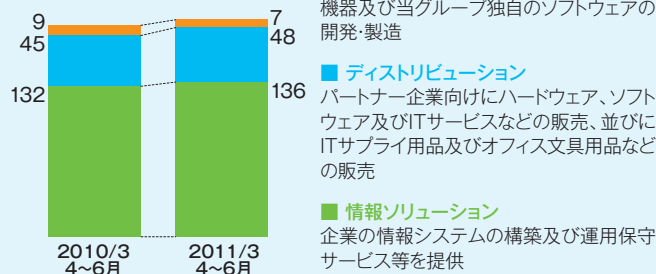


第1四半期の概況をお知らせいたします。

情報ソリューション分野が伸長したことにより、連結売上高は増収となりました。

事業分野別売上高

(単位:億円)



● 情報ソリューション

サーバー、PC及びソフトウェアなどのシステム製品を中心とした需要が回復したことにより、売上高は前年同四半期と比べ2.9%増となりました。

● ディストリビューション*

オフィス文具用品の販売は厳しかったものの、サーバーなどのシステム製品の販売が伸長した結果、売上高は前年同四半期比3.6%増となりました。

● 製品開発製造

OEM先企業向けの販売が減少した影響を受け、主力製品であるプリンターの販売が低調に推移し、売上高は前年同四半期比26.8%減となりました。

※当第1四半期連結会計期間より、従来の「システム・ディストリビューション」「ITサプライ」を統合し、「ディストリビューション」としました。

■ 製品開発製造

プリンターやシンククライアントなどの情報機器及び当グループ独自のソフトウェアの開発・製造

■ ディストリビューション

パートナー企業向けにハードウェア、ソフトウェア及びITサービスなどの販売、並びにITサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売

■ 情報ソリューション

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を提供

POSTCARD

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第47期第1四半期が終了しましたので、第1四半期株主通信をお送りいたします。今回は、第1四半期の業績と注力分野の進捗状況を中心にご報告いたします。

第1四半期は、企業のIT投資意欲に回復の兆しが見られました。こうしたなか、**情報ソリューション分野を中心に売上が伸長**し、前年同四半期と比べ増収となりました。また、損益面では**販売費及び一般管理費などのコスト削減に努め**、販売費及び一般管理費率は前年同四半期より0.4ポイント改善することができました。

以上の結果、第1四半期は、

[売上高] 191億89百万円

(前年同四半期比1.6%増)

[経常利益] 2億3百万円

(前年同四半期は20百万円の経常損失)

[四半期純損失] 74百万円

(前年同四半期は1億18百万円の四半期純損失)

となりました。

資産除去債務について

第1四半期に、資産除去債務会計基準の適用に伴う期首の累積的影響額として2億7百万円を特別損失に計上しました。

資産除去債務とは、有形固定資産の取得・使用等によって生じる有形固定資産の除去に関して法令等で要求される債務をいい、この度の会計基準の適用に伴い、特別損失として計上しております。

ITの可能性を、経営の可能性に。

第2四半期以降も企業のIT投資意欲は継続するものと思われる。

当グループは、**営業提案活動の強化による受注の拡大を図るとともに、注力分野（公共分野、医療分野、BIビジネス）への取り組みを引続き強化**することにより、収益の確保に努めてまいります。

計画達成に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



2010年8月
代表取締役社長

山田 隆 司

決算説明会の動画配信を スタートしました。



株主通信やホームページの「文字」情報だけではなく、当社経営者が直接ご説明している動画を配信しています。年2回(5月/11月)実施する「決算説明会」の様子を配信いたしますので、当社の業績・方向性をご理解いただくツールとしてご活用ください。

URL : <http://www.jbcchd.co.jp/movie/>



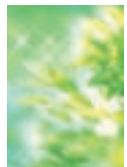
02 OPEN

今後に向けての取り組みはこちらから。



株主通信 <第47期 第1四半期>

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1
ニッセイアロマスクエア15F
JBCCホールディングス株式会社
経営企画、広報IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

※本通信は2010年3月末時点での株主様にお送りしています。



01 OPEN

トップメッセージはこちらから。

[ご注意] 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

今後に向けての取り組みについてお知らせします。

 タイ(バンコク)にも新会社を
設立しました。

中国に次いで2010年7月、日系企業のアジア拠点であるタイ(バンコク)に、JBCC(Thailand) Co., Ltd.(JBTH)を設立しました。日本国内で培った豊富なノウハウと顧客基盤を基に、IBMタイや現地大手IT企業のメトロシステムズ社と連携し、現地日系企業のIT活用を支援します。当グループはこのJBTHの設立によりグローバル化の動きを更に加速させ、2015年3月にはグローバルビジネスで150億円の売上を目指します。

 医療分野で着実に実績を
重ねています。

注力分野である医療分野では、この第1四半期には、**国立病院機構の5病院※に電子カルテの導入**を進めています。医療分野は、政府が2013年度までに「地域医療再生基金」として2,350億円の予算化を決定しており、国立病院機構の仕様書に基づいた確かな提案活動を行うとともに、国立病院への導入実績を活かして、各地区の病院へのビジネス展開を推進します。

※独立行政法人国立病院機構の5病院
箱根病院/福井病院/米沢病院/久里浜アルコール症センター/下総精神医療センター



[IRメール配信サービス(無料)]のご案内
当社の業績など適時開示内容や当グループ内の最新情報をメールでお知らせします。配信をご希望の方は、下記よりご登録ください。

登録サイト <http://www.jbcchd.co.jp/mail/>

 IT FORUM2010でビジネス発掘。
1700名が来場

最新ソリューションやテクノロジーを紹介するJB Group IT FORUM2010を、日本IBM、マイクロソフト、日本HPなど32社協賛のもと、今年も東京・名古屋・大阪で開催しました。新聞等でも話題の環境やiPhoneのソリューション、クラウド、3Dプリンターなどを具体的にセミナーや展示でご説明し、ビジネス拡大の機会となりました。

JBグループの
CSR

事業を通してお客様の環境対策を
支援しています。

IT機器導入、保守リサイクル事業を中心に活動するJBTS※では、ネットワークを利用してお客様の環境情報(温度、電力量、CO₂排出量)を測定・収集し、省エネルギー対策のコンサルティングを行う『環境情報収集サービス「JB-ECOセンシング」』で、お客様の環境改善活動をお手伝いしています。各事務所に「環境モニター」を設置するなど、従業員が環境を身近に感じ、全社的な環境対策に取り組める提案が好評です。

※JBTS: 株式会社ジェイビーシー・テクニカルサービス

決算などの財務情報に関するご質問は

 **0120-887-652** 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)
e-mail: ir@web.jbcc.co.jp

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。